

業務資料 No. 046

市場關係情報

第 4 号

大豆，桐油，菜種，胡椒 編

1 9 6 8 . 5

海外移住事業団



正 誤 表

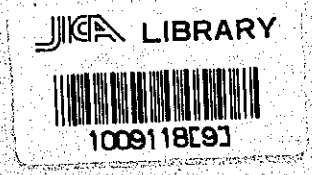
頁	位 置	誤	正
1	上から 3 行目	9億449百万	9億4千9百万
1	8 "	一 選	一 環
8	5 "	1 6 bu	1 bu
9	下から 10 "	没 備	設 備
18	2 "	244/ed	24 0 /ed
18	上から 1 "	Oile	Oil
22	下から 10 "	浄された。	評された。
23	上から 9 "	月別御売	月別卸売
23	下から 8 "	130/MT	130\$/MT
23	"	112/MT	112\$/MT
23	" 5 "	206/MT	206\$/MT
23	"	216/MT	216\$/MT
23	" 3 "	16/MT	16\$/MT
23	" 2 "	183/MT	183\$/MT
23	"	242/MT	242\$/MT
23	" 1 "	188/MT	188\$/MT
23	"	250/MT	250\$/MT
28	上から 8 "	御 売	卸 売
28	上から 10 "	(855)	(855\$)

国際協力事業団	
受入 月日	84. 5. 21
	000
	84.2
登録No.	06109
	EM

4.15
K

目 次

1, 大豆及び大豆油	1	頁
2, 世界の大豆 (作付面積, 収取, 生産)	6	
3, 桐 油	15	
4, 菜 種	22	
5, 胡 椒	28	

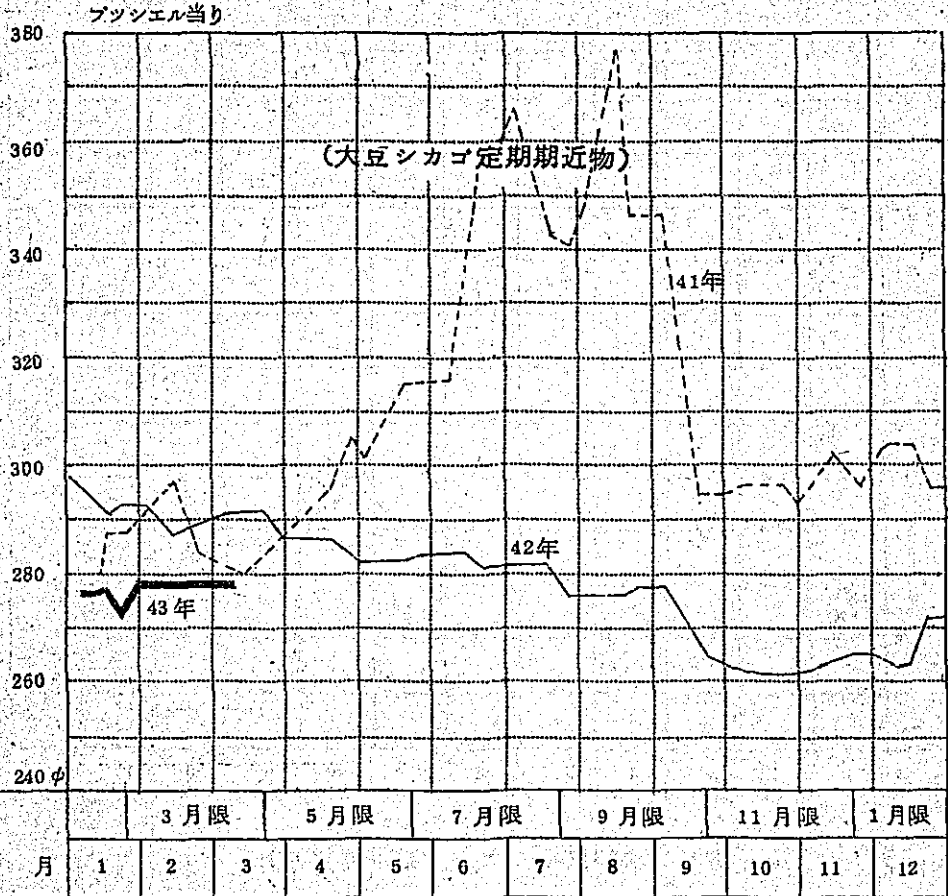


引用及び参考文献

- Foreign Agriculture Circular (U.S.D.A)
Grain FG, 4-68, FFO6-68, Sugar FS-1-68,
- 油脂, 2.3月号 (幸書房)

国際協力事業団	
受入 月日	53. 1. 13
登録No.	6666
	4.15 K

大豆及び大豆油

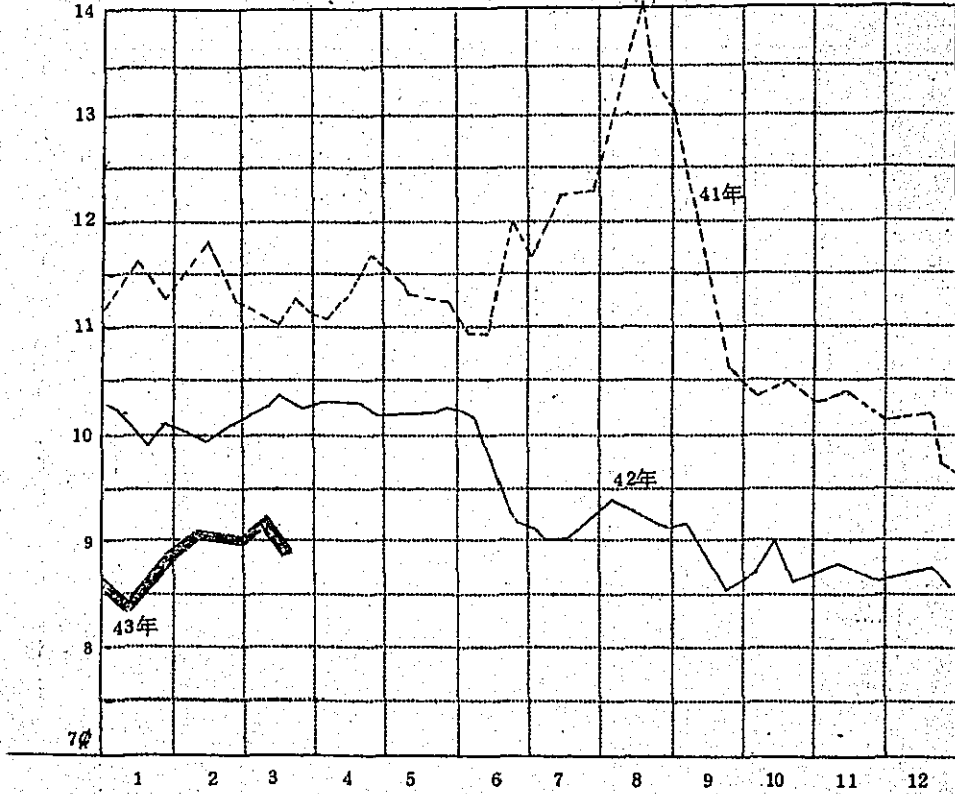


本年若干相場の反発がみられるがその要因は ①農家の売控、②需要の堅調 ③輸出の好調によるものである。しかし、今後大巾な値上りはなさそう。

今季（1967.9～1968.8）の需要は、合計9億449百万ブッシェル（前年より743百万ブッシェル上回る）の新記録。予想、生産も約10億7千6百万ブッシェルの史上最高予想。

9月1日の繰越在庫約1億2千7百万ブッシェル（前年度9千百万ブッシェルを4.0%上回る新記録）となり市場圧迫要因となる。このためU.S.D.Aは輸出伸長の一環として昨年末、大豆油輸出促進のための使節団をインド、パキスタン、イラン、モロッコ等へ派遣。

<アメリカ大豆原油相場>



(デイクーター渡し、現物原油1ポンド当りセント)

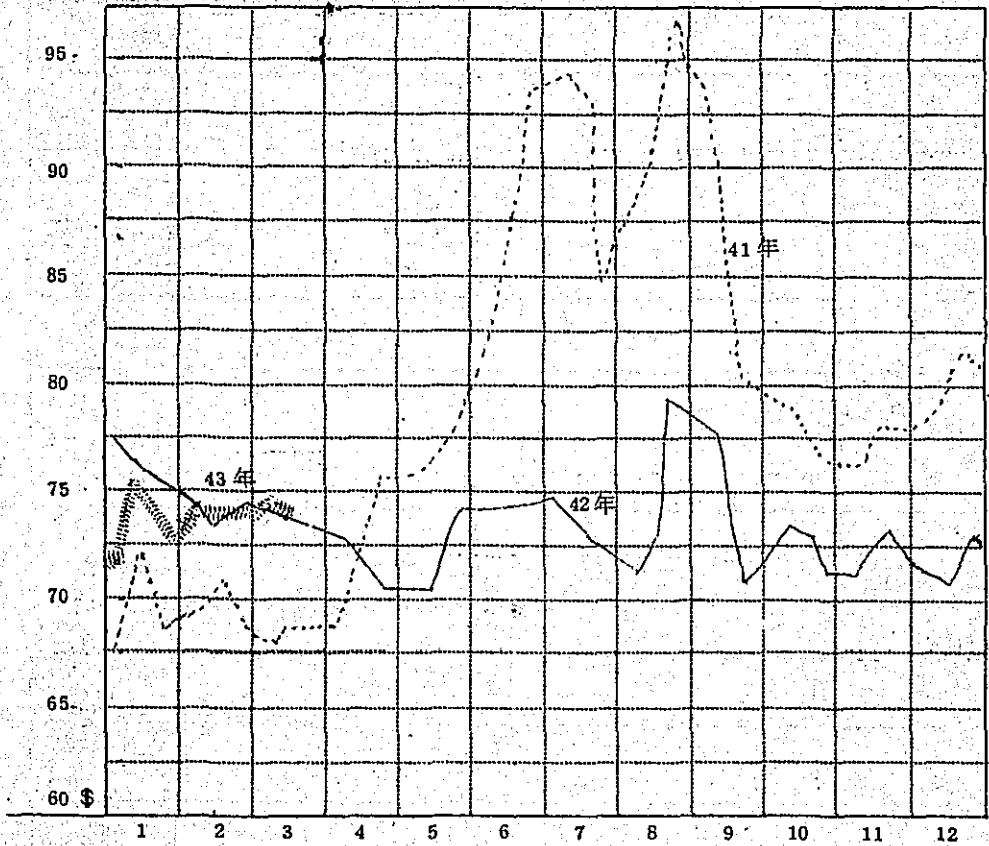
大豆油及び大豆粕相場 (シカゴ定期)

内訳	年 40				41		
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
油 (¢1 lb)	11.64	10.66	10.04	10.75	11.59	11.03	12.88
粕 (\$1/ton)	35.07	68.57	66.08	65.82	70.52	78.87	89.33

ここ3年間油安の粕高傾向にある。原料 ton 当り価格に対する粕価格のウェイト変化は、40年 55~57%と急上昇、41年 57~61%、42年 61~64%、

<アメリカ大豆ミール相場>

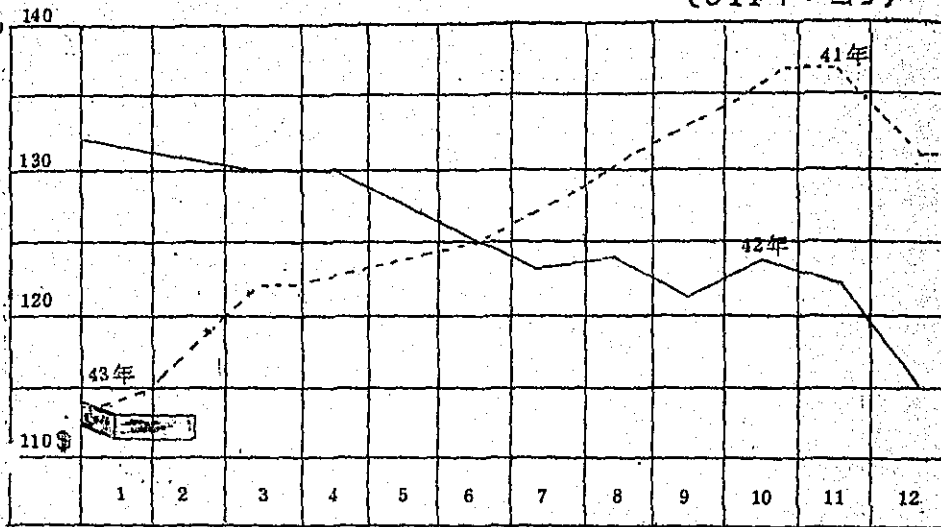
(デイクーター渡、現物1MT当りドル)



	42			
10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
10.70	10.03	10.01	9.18	8.59
77.93	74.60	71.77	76.72	72.33

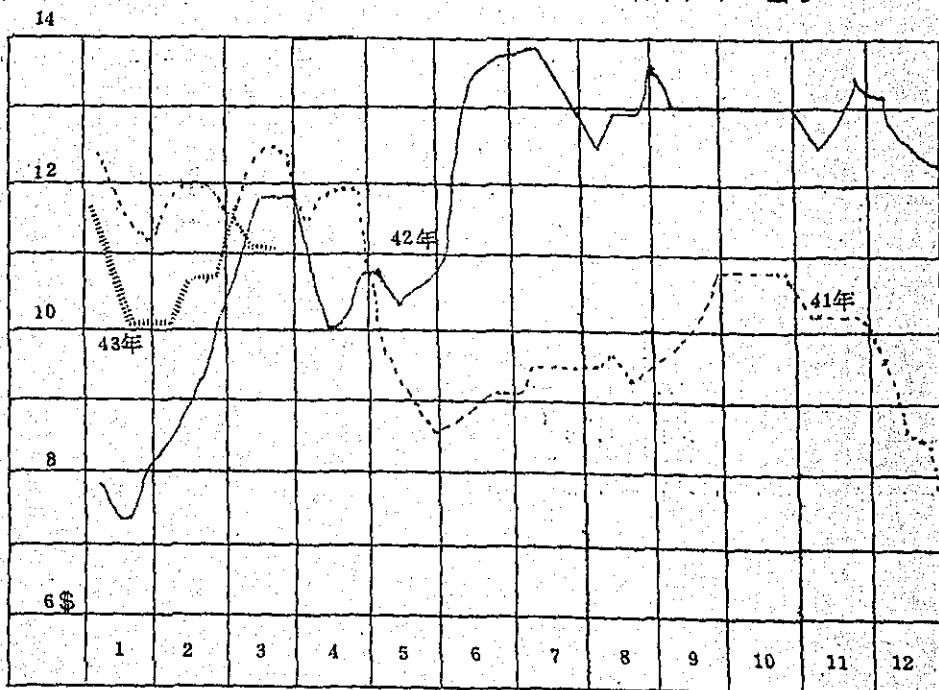
<大豆輸出価格> (日本)

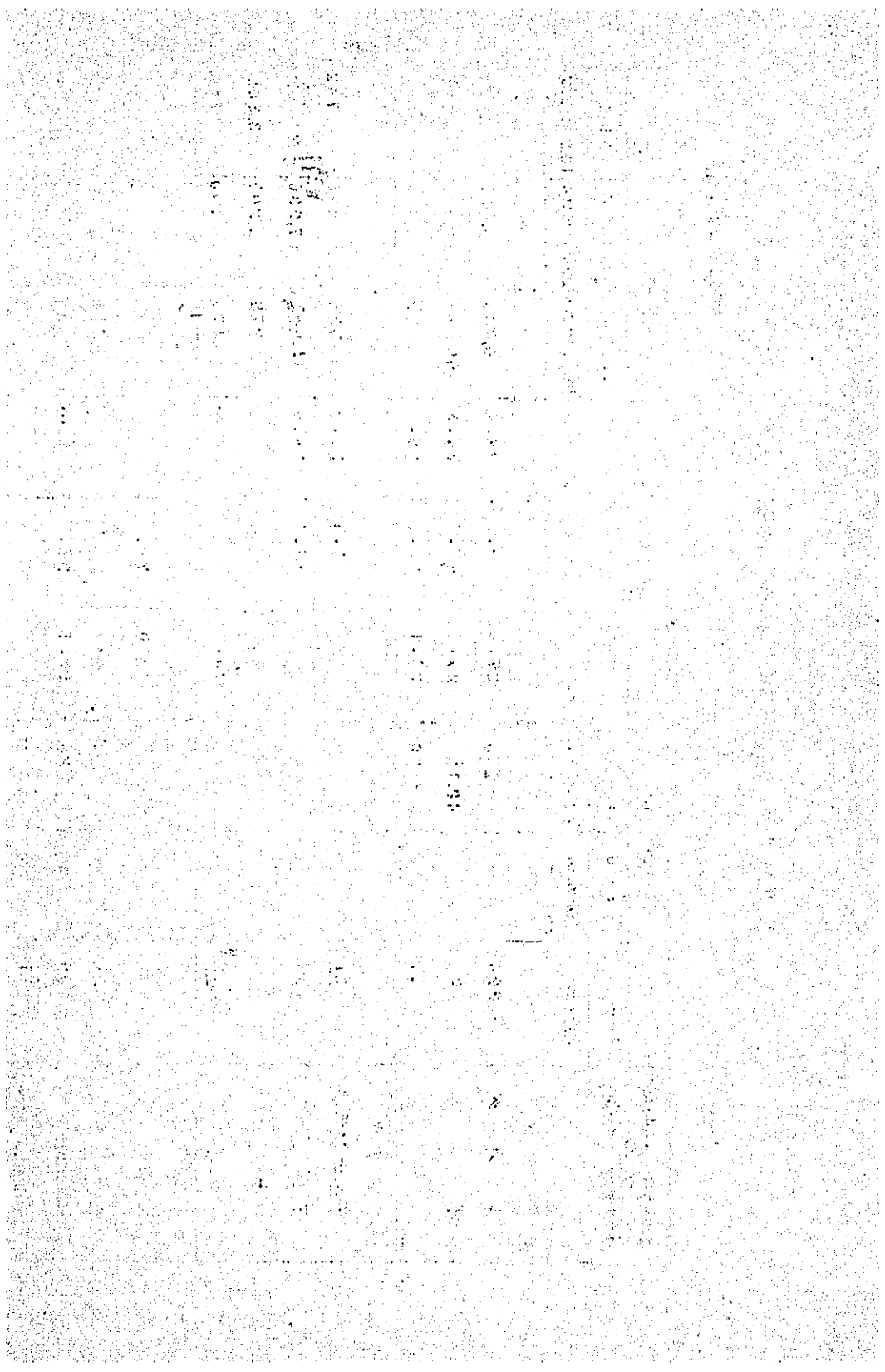
(CIFトン当り)



<大豆運賃表>

ガルフー日本, トン当り





世界の大豆（作付面積，反収，生産）統計

(U.S.D.A.)

1エーカー=1,046.8㎡ (大豆) 1ブツシエル=27.2kg	作付面積			平均反収			生産		
	1960-64	1966	1967	1960-64	1966	1967	1960-64	1966	1967
	1,000エーカー	1,000エーカー	1,000エーカー	ブツシエル	ブツシエル	ブツシエル	1000ブツシエル	1000ブツシエル	1000ブツシエル
北アメリカ	224	279	290	27.0	32.3	28.6	6,044	9,012	8,294
カナダ	27,535	36,644	40,123	24.0	35.4	24.8	660,582	931,491	993,715
米国	27	124	136	26.1	29.7	28.4	699	3,675	3,860
メキシコ	21	39	42	15.9	17.1	17.6	338	661	742
南アメリカ	704	1,112	1,310	15.1	16.1	18.9	10,657	17,930	24,802
アルゼンチン	44	124	148	22.1	17.8	22.3	978	2,205	3,307
ブラジル	8	23.7	179	440	440
コロンビア	27	28.0	28.9	...	13	8	...
パラグアイ	26	16	25	17.1	25.4	...	178	397	...
ヨーロッパ	11	5	443	440	...
イタリヤ	6.5	114	43	...
ルーマニア
ユーゴスラビア
その他(ソ連除く)

ソ連	1,830	2,113	2,225	6.4	10.4	10.1	11,635	21,899	22,400
アメリカ	638	565	...
ナイジェリア	1	8.2	12	5	...
ローデシア	14	5.3	104
タンザニア	14	17	...	13.3	12.7	...	184	220	...
アジヤ	20,650	19,765	20,260	12.4	12.6	12.7	278,000	250,000	255,000
トルコ	139	127	...	14.3	18.3	...	1,983	2,325	...
中国	29	13.6	397
台湾	1,488	9.9	14,778	12,983	13,410
カンボジア	647	417	351	19.3	18.0	18.9	12,478	7,319	6,614
インドネシア	700	687	...	8.1	8.6	...	5,660	5,927	...
日本	68	43	43	15.5	16.9	16.9	1,060	735	735
韓国	31,910	41,295	45,040	717,900	996,985	1,066,660
タイ	55,690	64,515	68,845	18.3	19.8	19.7	1,017,825	1,278,970	1,354,135
合計 ※
世界合計(推定)

※ ルーマニア，その他ヨーロッパ諸国，ソ連，中国，北朝鮮を除く。
 (ブラジルの生産の3/4はRio grande do Sul地域であり，Parana, Sao Paulo地域も最近では生産が増加しつつある。)

米連における大豆、大豆油、大豆粕事情 (U.S.D.A)

大豆 ① 1967年生産量994百万bu (去年931百万bu) 8月31日以降持越量91百万bu, よつて、1967/68年の総供給量は1,084百万buで12%の増加となる。

② 1967/68年度農民平均手取価格は16bu当り2.50ドル前後と予想される。1966/67 " " 2.77ドルであつた。

③ 1967年cropのccc, 支持価格は、1966年cropと同じく、2.50ドル1966年cropの大豆のうち約152百万buがloanに持込まれ、そのうち120百万buが買戻された。(c.c.c=Commodity Credit Cooperation=商品金融公社=麦、トウモロコシ、ソング等農産物の価格支持機関。生産者に支持価格で生産物担保に融資を行ない、生産者はその間有利な買手をみつけccc保管の生産物を自由に引出す。融資期間内に引出しが行なわれぬ場合はcccに売却したものととなる。

大豆油

① 1967/68年の大豆油総供給量は70億lbs (1966/67年: 640万lbs)と予想される。1967/68年の生産量は64億lbs国内消費は5.1億lbsが予想される。したがつて13億lbsが輸出または持越量増加となる。

② 大豆油の輸出は、政府輸出計画及び国内、外の大豆、その他植物油の価格変動に左右されるが今年は14億lbsが輸出に向けられると予想される。(1966/67年輸出量合計10.7億lbs) 1968年の世界食用植物油状況に次の要因があげられる。

ア、恒常的な米連大豆及び大豆油豊富な輸出余力、ブラジル、中共の輸出余力の微増

イ、インド、セネガルの落花生生産増加とナイジェリアの在庫増加

ウ、スペインを除く地中海沿岸諸国のオリーブ油の生産増加

エ、ソ連、東欧諸国のヒマワリ及びヒマワリ油が引続き大量に出回る。
オ、カナダ、フランスなどのナタネ主要輸出国が今年も生産増の可能性が
ある。

大豆粕

① 1966/67年度大豆粕総供給量は14.3百万tと予想される。1966/67年の大豆粕輸出量は2.7百万tそのうち3/4が西ヨーロッパ向であつた。

因みにEECの油粕消費量は1970年には8,800千tに達しそのうち大豆粕の占める割合は40~55%が予想される。しかし域内による自給は1970年で3~5%に過ぎず、外国から供給をうける必要がある。EECへの最大の供給国はアメリカで1963年にはEECの油脂原料総輸入の46%を占めた油粕総輸入の25%を占めた。

大豆粕国内消費は1953/54の5.1百万t(全生産の80%)から1966/67の10.5百万t(同80%)に増加。

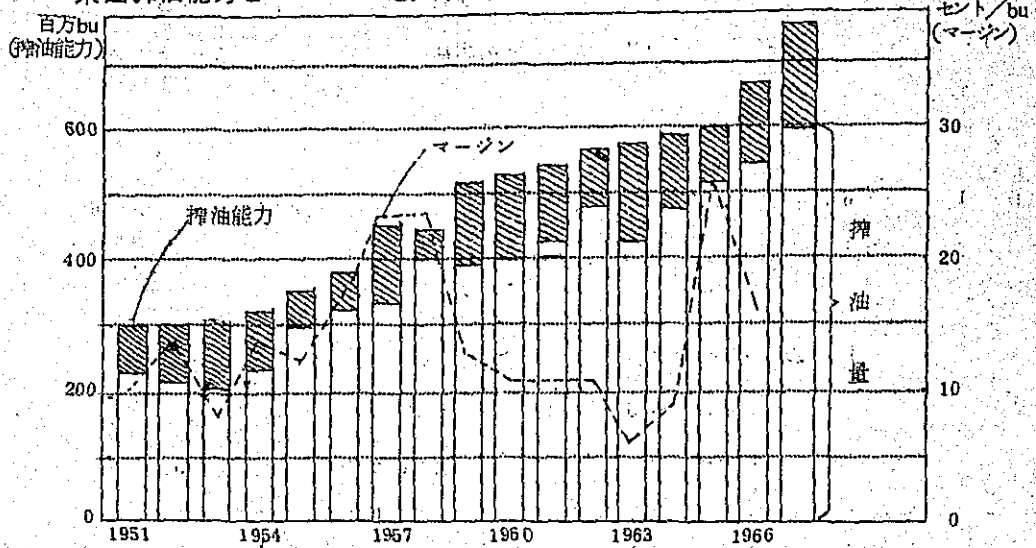
米国の大豆搾油業界

搾油設備の拡大が急激に行なわれており、1951/52年の310百万buから1967/68には750百万buになると予想される。搾油方法は圧搾から抽出へ移行し、現在では95%以上が抽出方式になつている。

搾油量は1951/52の244百万bu(搾油能力310百万bu)から1967/68の600百万bu(能力750百万bu)となつている。稼働率は平均80%。工場数は1951/52の193から1967/68の135と30%の減少(大規模化を意味する)をみた。1工場当り年間平均搾油量は1951/52の1.3百万buから1967/68の4.4百万buに増加

1967年には大豆生産の60%が搾油され30%が輸出されると予想される。

米国搾油能力とマージン (原料価格と製品 (油とミール) 価格との差額)

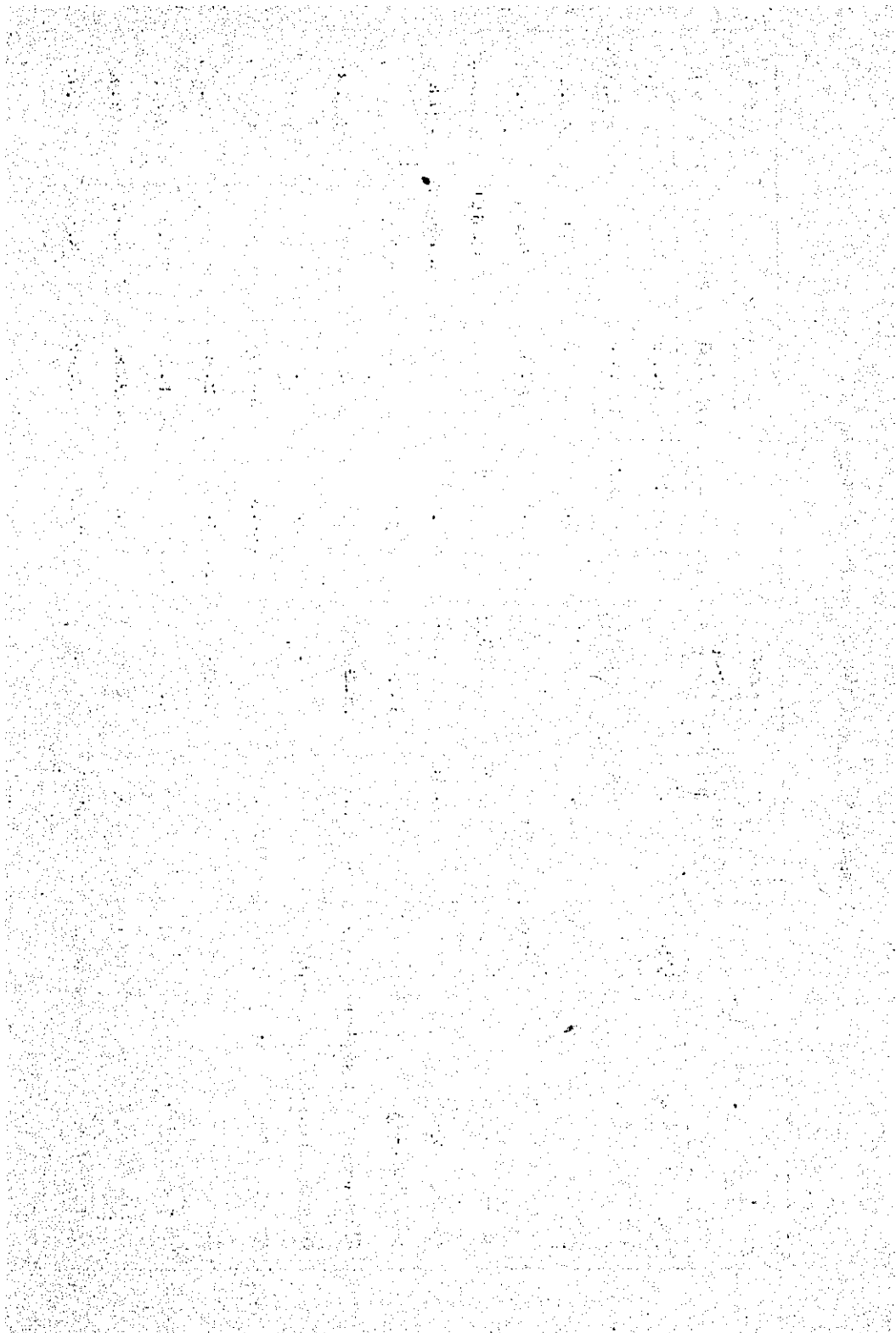


1967年産米国大豆の油分および蛋白質

(Dry Weight Basis)

(%)

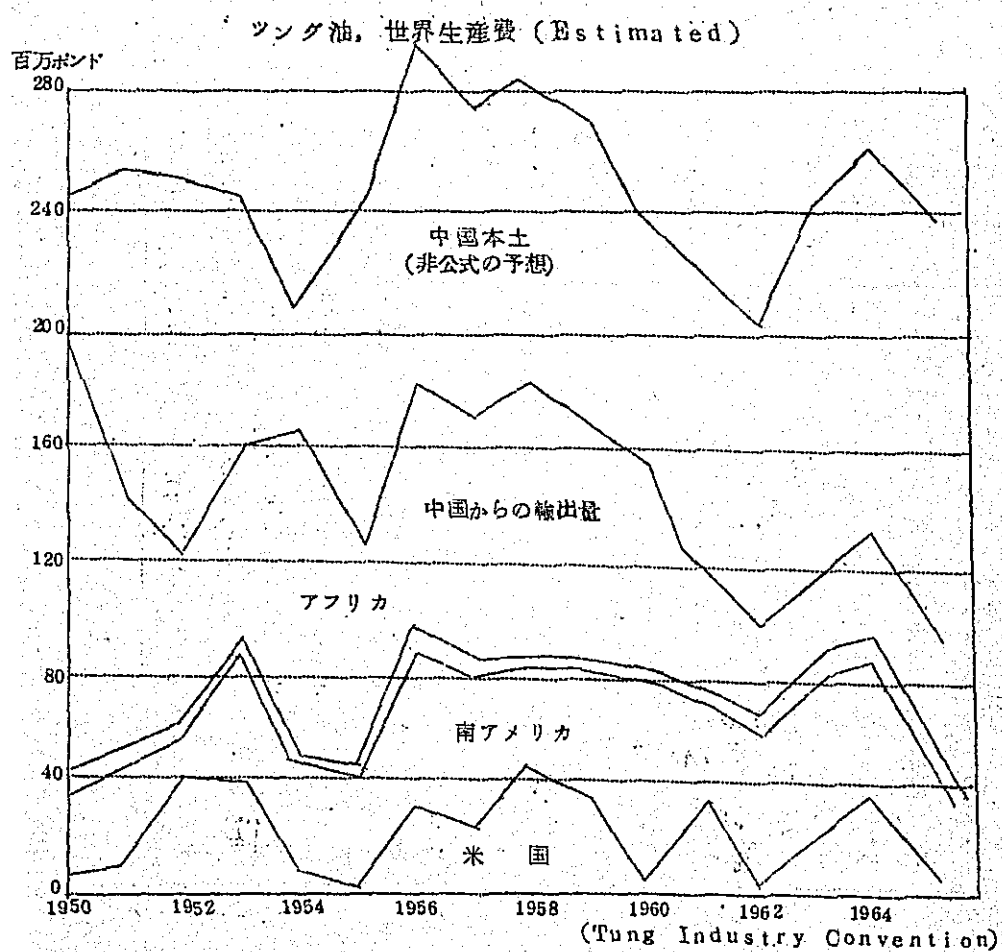
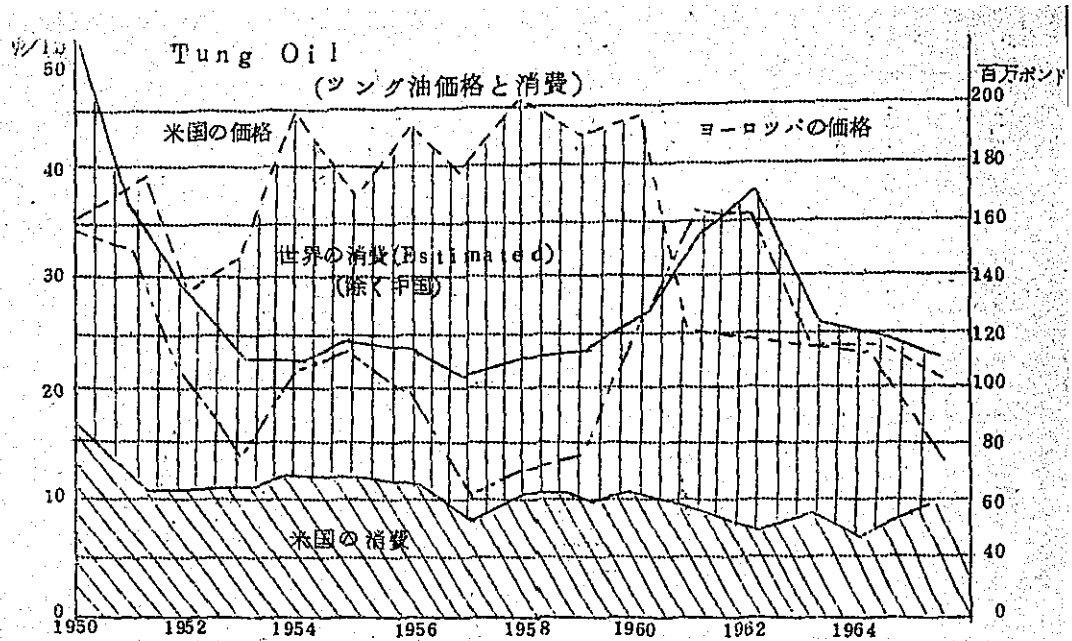
州	油 分		蛋 白 質	
	1966	1967	1966	1967
オハイオ	20.1	20.5	44.1	43.0
インディアナ	21.0	20.9	43.7	42.5
イリノイ	21.1	20.8	42.6	42.4
ミシガン	19.2	20.0	43.4	42.8
ミネソタ	19.4	20.2	42.5	42.0
アイオワ	20.3	20.8	41.9	41.4
ミズーリ	20.0	20.9	41.2	41.2
ネブラスカ	20.5	21.4	39.2	39.9
カンサス	20.5	22.2	41.4	38.8
北カロライナ	19.8	20.4	43.0	42.4
南カロライナ	21.5	21.2	40.8	40.5
テネシー	20.1	21.4	40.2	41.9
ミシシッピ	20.7	22.0	41.7	40.8
アーカンソー	19.8	21.3	41.7	41.8
ルイジアナ	21.5	22.1	41.5	42.2
15州平均	20.4	21.0	42.2	41.8



米国における農産物、生産者平均手取価格

商品名, 単位	平均		1967			1968	
	1910-1914 1~12月	1957-1959 1~12月	1月15日	11月15日	12月15日	1月15日	1月15日
	小麦 \$/bu	0.880	1.84	1.57	1.39	1.39	1.40
ライ麦 \$/bu	0.725	1.01	0.982	1.06	1.00	0.973	
米 (モミ) \$/cwt	1.81	4.87	5.16	5.02	5.08	5.13	
トウモロコシ \$/bu	0.649	1.10	1.28	0.970	1.03	1.04	
オート麦 \$/bu	0.399	0.622	0.682	0.651	0.661	0.667	
大麦 \$/bu	0.617	0.892	1.04	0.974	0.975	0.978	
ソルガム (粒) \$/cwt	-	1.72	1.92	1.68	1.73	1.75	
綿(American upland) \$/lb	11.92	30.90	19.79	30.48	27.61	22.38	
綿(American-Egyptian) \$/lb	-	55.4	47.6	50.8	49.8	46.5	
棉実 \$/ton	21.80	47.60	65.30	56.00	57.00	56.40	
大豆 \$/bu	-	2.09	2.77	2.43	2.48	2.53	
落花生 \$/lb	4.83	10.6	11.4	11.5	11.1	11.3	
アマ種子 \$/bu	1.68	2.81	2.87	2.85	2.86	2.88	
ジャガイモ \$/cwt	1.13	1.71	2.25	1.62	1.69	1.63	

サツマイモ \$/cwt	1.61	4.30	5.20	4.31	5.53	6.21
ソラ豆(dry edible) Beans \$/cwt	1.39	7.04	6.78	9.14	9.41	9.46
エンドウ豆(dry field) peas \$/cwt	-	4.04	4.75	4.38	4.48	4.43
リンゴ(for freebase) \$/lb	-	4.70	6.05	6.74	7.16	7.28
モモ() \$/lb	-	5.56	-	-	-	-
ナシ() \$/ton	-	73.30	87.50	149.00	148.00	131.00
イチゴ() \$/lb	-	23.6	41.8	28.8	-	32.0
<Oitrus> Pe box \$/箱	-	1.33	0.87	1.81	1.80	1.86
グレープフルーツ \$/箱	-	1.42	1.89	2.70	2.36	2.55
レモン \$/箱	-	4.79	8.28	5.60	4.32	3.11
ライム \$/箱	-	2.62	0.72	1.53	2.32	2.11
オレングズ \$/cwt	7.29	17.30	18.90	17.00	16.60	17.60
豚肉 \$/cwt	5.52	20.60	21.70	21.30	21.70	21.80
牛肉 \$/cwt	6.84	23.50	26.10	25.60	26.10	26.40
小牛肉 \$/cwt	21.6	35.4	37.4	29.6	32.1	31.5
卵 \$/ダース	17.8	43.8	45.6	38.4	37.1	39.0
羊毛 \$/lb	-	-	-	-	-	-



中国桐油と今後

中共桐油の輸入、

(S/T)

輸 入 国	1960~64年 平 均	1963	1964	1965	1966
オーストリア	127	40	140	1575	251
ベルギー	115	40	143	313	278
デンマーク	423	353	471	395	420
フランス	341	388	355	779	464
西ドイツ	2,028	962	1,636	2,797	1,920
イタリア	486	254	312	414	935
オランダ	642	785	1,045	1,188	1,235
ノルウェー	207	58	157	247	200
スウェーデン	928	815	985	966	1,000
イギリス	2,513	1,431	3,678	4,567	3,160
ソ 連	5,425	1,985	1,985	2,000	2,000
香 港	2,570	2,463	2,452	1,908	1,088
日 本	2,250	2,330	3,695	3,591	4,336
オーストラリア	1,174	1,208	970	1,245	1,068
ニューゼaland	205	141	178	262	240
そ の 他	789	168	65	76	75
合 計	20,223	13,421	18,267	20,905	18,670

(Foreign Agriculture Oct.16.1967)

Foreign Agriculture Oct.16.1967によると、

「1967年6月5日のスエズ運河閉鎖によりヨーロッパにおける中共の桐油市場は南アメリカの桐油によりとつて代わられてしまつた。もしスエズ運河の閉鎖が更に続くとするならば、中共はその市場をアジア、大洋州、とくに日本に求めなければならなくなるであろう。中共産桐油価格は南アメリカ※

(注) ①	1966年度	中共桐油価格OIFヨーロッパ諸港		in bulk 平均 (137,264円/ton)
				17.3セント/ℓd
	1967年度	"	"	(95,212円/ton)
				(12セント/ℓd)
②	1967.8月	ロッテルダム	アルゼンチン桐油相場	(85,680円/ton)
				185ポンド/ton
	1967.10月	"	"	(105,840円/ton)
				105ポンド/ton
	1967.12月	"	"	(133,056円/ton)
				132ポンド/ton

※の桐油生産増加により1967年度には平均12セント/ℓd(95,212円/ton~注①)に下落した。」

となつているが、その後世界の(中国以外の)桐油相場高騰により、中国側も強気になり注②に示すごとく値上りしている。

値上りの主な原因は、①桐油主要生産国アルゼンチン、ブラグアイ、米国の減産予想、②世界各国の需要が増大していること、③とくにソ連では昨年1年間の買付け量は約6,000tonとここ数年間の平均1,800~1,900tonの3倍以上に達するとみられていることなどである。

以上の事情から、桐油価格は今後一段と値上りするという見方と、当分このままの水準で推移するという見方がある。この見方の背景としてあげられるのは、世界の桐油総需要バランスである。

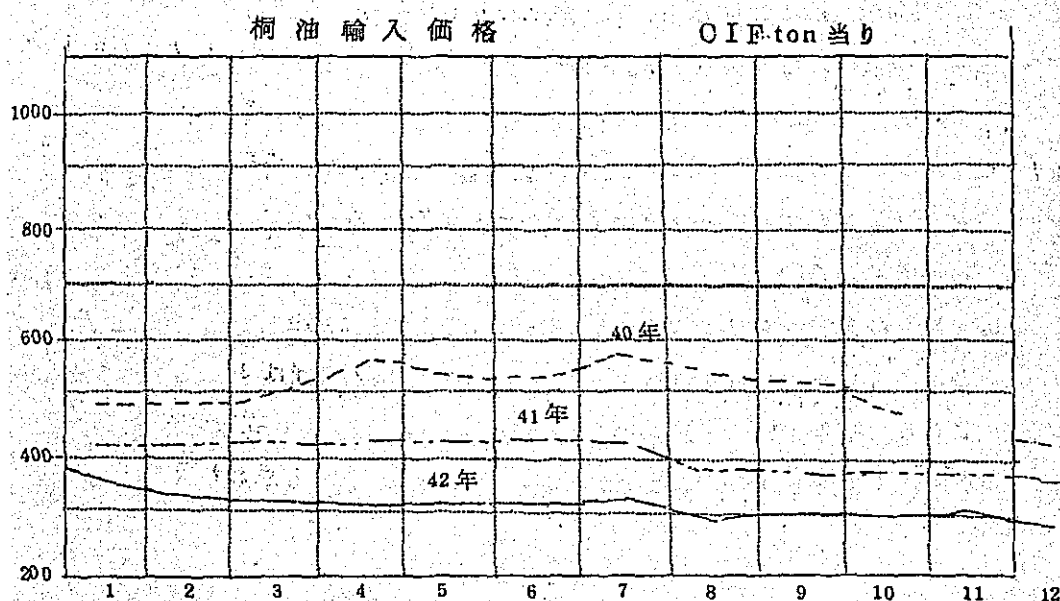
Oil Worldによると、67~68年の主要3国の総供給量は66,000~67,000ton これに中国を加えると68年の世界輸出余力は約87,000tonと見ている。一方過去3ケ年の世界の平均輸入量は48,100tonであるが、67年の輸入量が55,000tonに達し、また中国々内での需要および文化大革命スローガンのペンキ用需要増などを考慮してもなお供給量が輸入量をかなり上回る。

問題は繰越量の大部分を有するcccの今後の販売方針にかかるところが大きいことである。

日本における桐油輸入量と輸入価格（油脂1月号）

桐 輸 入 量

内訳	年	1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966	1967
輸入量(t)		5593	5684	4171	3013	4851	3962	4028	6089
対前年比(%)			102	73	72	161	82	102	151



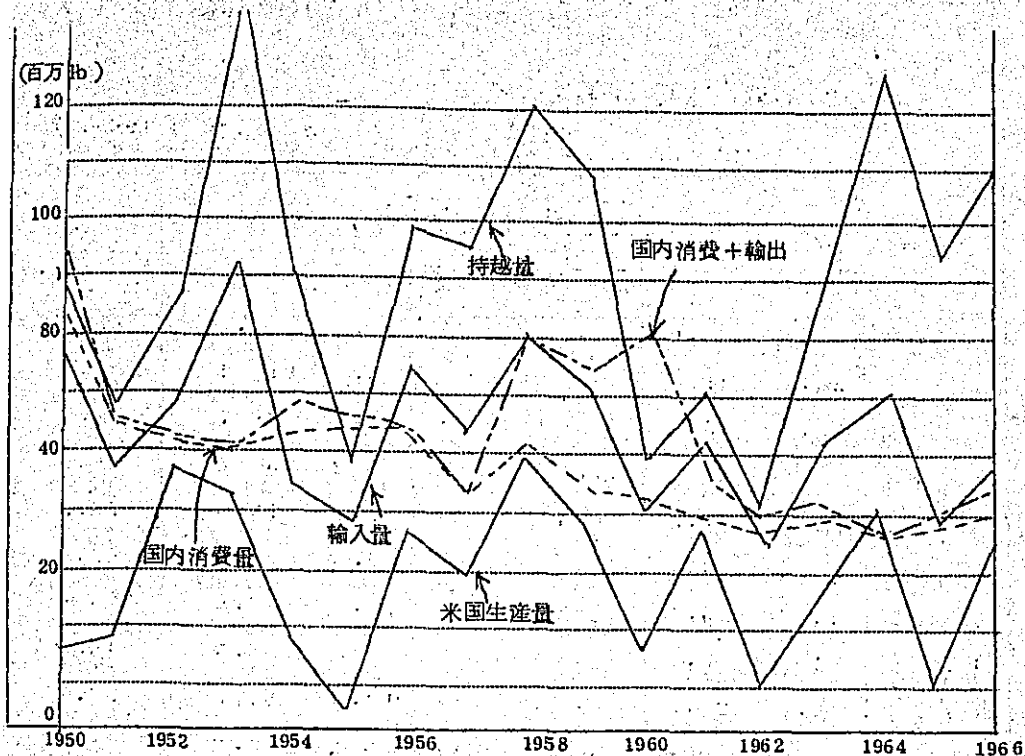
中国桐油長期購入契約（1968.4～6月横）は、昨年12月中旬広州交易会終了間際にまとまり数量はほぼ前年並みの800ton前後である。

価格は152ポンド/ton（131,286円/ton）と高値であり旧ポンド133ポンド相当、昨年7～12月及び本年1～3月の長期契約分105ポンドに対し28ポンドの値上りである。ドラム（190kg）当たりでは約5,5000円の値上り、実需家渡しの価格は27,500～28,000円。

米 国 の 桐 油

「Fats and Oile Situation」1968.1によると。

- ① 1967年度桐実生産量は52,800 tonと推定される(1966年度
の生産は82,900t) 昨年より1/3の減産。
- ② 桐油生産量は約12百万ℓd(前年は25百万ℓd)
桐油持越量は1967年11月1日現在66,3百万ℓd(前年は53百万ℓd)
このうち95%はccc保有。
- ③ 桐油輸入は12百万ℓd(前年21.2百万ℓd)
- ④ U.S.A.では桐油は1ℓd当り13セントでcccの代わりにNational
Tung Oil Marketing Cooperativeにより売却されている。
- ⑤ 南アメリカの1968.7.31日に終るCrop Yearの桐油生産はアルゼ
ンチン、ブラジル、パラグアイで約52百万ℓdになると予想される(前
年82百万ℓd)
- ⑥ 以上の推定からU.S.A.の1967~1968年の供給は約90百万ℓd
となり、U.S.A.の需要の2年半分となる。国内消費は34百万ℓdと思
われる(前年31.6百万ℓd)、桐油は13¢/ℓdと支持価格244¢/ℓd
の半値近くで売られているので国内消費は伸びるものと思われる。



米国の桐実 (供給, 処理, 価格) (Fats and Oils Situation) 1968.1

(A表)	供給量 (1,000 ton)			処分量 (1,000 ton)		ton当り 価格 (円)		破碎/ton@d
	生産	輸入	計	破碎	未破碎	季節平均	支持価格	
1952	132.1	0.5	132.6	129.5	3.1	79.80	67.20	335
1953	120.0	...	120.0	112.6	7.4	66.80	63.38	352
1954	51.0	...	51.0	46.6	4.4	59.40	54.96	352
1955	6.2	0.5	6.7	※	...	64.00	51.06	...
1956	103.5	...	103.5	100.2	3.3	53.40	53.76	319
1957	82.6	...	82.6	80.7	1.9	52.30	52.13	315
1958	146.7	...	146.7	143.4	3.3	53.20	53.89	312
1959	110.6	...	110.6	105.7	4.8	52.40	53.50	322
1960	42.6	...	42.6	37.6	5.0	62.50	53.50	346
1961	111.5	...	111.5	106.7	4.8	87.30	63.34	312
1962	22.8	...	22.8	19.9	2.9	122.00	63.34	382
1963	73.5	...	73.5	63.4	10.1	65.50	63.34	323
1964	123.3	...	123.3	115.1	8.2	61.70	63.34	319
1965	33.3	...	33.3	31	2.3	60.50	63.34	316
1966	82.9	...	82.9	78	4.9	57.90	63.34	320
1967	52.8	...	52.8				63.34	

米国の桐油（供給，処理，価格）

(Fats and Oils Situation 1968.1)

(B表)	生産	輸入	供給				合計
			ストック		Nov. 1		
			O C O		Trade	計	
			所有	融資			
1952	43.4	13.0	0.5	...	8.2	8.7	65.1
1953	39.6	41.5	5.8	...	9.3	15.1	96.3
1954	15.2	25.2	38.6	...	8.1	46.7	87.1
1955	2.2	31.4	19.2	...	13.2	32.4	66.0
1956	32.0	31.5	0.4	...	12.6	13.0	76.5
1957	25.5	24.7	15.0	...	9.8	24.8	75.0
1958	44.8	25.0	25.8	...	11.1	36.9	106.6
1959	34.0	226.0	30.0	...	8.5	38.5	98.5
1960	13.0	25.8	23.0	...	14.3	37.3	76.1
1961	33.3	17.1	8.2	8.2	58.6
1962	7.6	20.3	12.5	12.5	40.4
1963	20.6	29.5	6.8	6.0	56.9
1964	36.8	25.0	14.8	...	5.9	20.7	82.5
1965	10.0	28.4	14.1	24.0	13.1	51.2	89.6
1966	25.0	21.2	15.7	31.4	5.9	53.0	99.2
1967	12	12	7.1	55.6	3.6	66.3	90

処理量		ポンド当り価格			O C O 購入量
輸出	国内消費	N.Y.タンク 渡(輸入物)	F.O.B.タンク 渡	支持価格	
0.3	49.6	29.7	28.6	26.5	5.8
0.3	49.3	22.8	23.8	23.9	32.8
3.6	51.2	23.6	23.3	21.2	...
1.4	51.6	24.7	24.4	20.0	...
1.3	50.4	23.1	22.7	21.0	15.0
0.4	37.7	21.7	21.4	20.5	11.1
20.7	47.4	22.6	21.9	21.0	24.6
19.2	42.0	22.3	21.9	20.9	16.1
26.4	41.5	26.6	26.5	20.9	...
11.3	35.9	35.7	35.2	24.0	...
2.5	31.7	38.4	38.0	24.0	...
2.2	34.0	26.4	26.7	24.0	15.0
1.0	34.0	25.8	25.9	24.0	24.0
0.8	35.8	22.1	24.1	24.0	31.3
1.3	31.6	14.9	...	24.0	24.6
1	34	14.0	...	24.0	...

ナ タ ネ

ナタネは世界の主要油料子実の中で第4番目に位置している。主な生産地域は、アジアではインド、中共、パキスタン、西半球ではカナダ、ヨーロッパではフランスとスウェーデンである。米国においては、馬の飼料あるいはその他緑肥作物あるいは、主ではないが油料子実として栽培されている。ナタネは寒冷な湿気の多い気候の肥沃な土地に最も良くできる。

ナタネの含油分は諸々の品種あるいは産地により変化がある。標準的には油分40%、粕58%である。アメリカでのナタネ油は主として潤滑剤添加物生産工業あるいは合成ゴム工業で使用される。

生 産

1967年のナタネの生産量は5.4百万S/Tであり、1965年の5.3百万S/Tの記録を約2%上回っている。カナダ、フランス、西ドイツ、ポーランド、スウェーデンの増産はインドの減産を埋合わせしかも昨年より11%も上昇している。ポーランドの改訂予想収量716,500S/Tは空前の生産高であり、1967年の単独増産の最高記録と評された。フランス、西ドイツ、スウェーデンの記録的生産のため、ヨーロッパの生産量は2.0百万S/Tになった。1965年の1.7百万S/Tであつた。

カナダの生産は、3%上昇し、平原諸州の厳しい干魃にも拘らず、662,500S/Tの新記録と評されている。

1968年の世界生産量は、1967年の生産量を越えるかもしれないフランスや西ドイツのナタネ作付面積の増大はより多くの生産を示している。もちろん、冬枯れや厳しい気候による損害がない場合である。インドの生産は1967年の干魃による減産をこえ、増産が期待されている。カナダは高い生産水準を維持することが期待される。

輸出と価格

1966年のナタネ種子とナタネ油の世界輸出量はそれ以前の記録であった1965年を越えた。ナタネ種子の輸出量は666,300トンで8%の増加、ナタネ油は151,240トンで50%の増加である。カナダ、フランス、ポーランドで世界貿易量の84%のナタネ種子を輸出し、フランス、西ドイツ、スウェーデン、中共でナタネ油の84%を供給した。

1967年の評価量は、油用としてのナタネ種子、ナタネ油の輸出量の増加を示している。もし1968年の生産が期待どおりであれば、世界貿易量は上昇傾向を迎ることとなる。

カナダナタネのOIF、ヨーロッパ諸港渡し月別御売価格は1967年では平均トン当り123、1966年の年平均より5%下値である。8月中は価格は堅調に推移したが、9月には急激に下落した。

価格は下落し続け、10月には前年の130 /MTに比し112 /MT になつた。

ナタネ油の価格も下落傾向を続け、1967年の平均は、EEC以外のもので206 /MT EEC内のものでさえ216 /MT へ下落した。夫々18%、15%、の下落である。最厳しい下落は7月でそのときの油の価格は16 /MT 下落した。8月も厳しく下落した。12月はEEC以外の油の平均は183 /MT、昨年は242 /MT、EECの油は188 /MT に、昨年同期は250 /MT

ナタネ種子生産量

(単：1000S/T) = (907, 18M/T)

国名	1960~64平均	1963	1964	1965	1966	1967※
西半球						
カナダ	249.0	209.0	330.8	565.0	645.0	662.5
チリ	45.9	55.9	56.2	66.1	77.2	60.6
その他	17.4	17.2	17.2	17.2	17.2	17.2
計	312.3	282.1	404.2	648.3	739.4	740.3
ヨーロッパ						
ベルギー	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	1.3
フランス	161.2	148.8	271.8	372.4	355.3	444.2
西ドイツ	102.2	105.6	119.8	117.4	108.8	137.3
イタリア	10.1	8.8	9.0	9.8	10.5	6.0
ネーデルラント(オランダ)	10.6	11.0	11.3	12.0	14.5	14.4
EEC計	284.2	274.3	412.0	511.8	489.2	603.2
オーストリア	9.9	8.3	11.6	12.8	15.0	17.0
デンマーク	37.6	29.1	57.6	50.5	39.7	35.3
フィンランド	7.9	8.8	9.9	7.4	3.1	9.7
スウェーデン	135.9	113.4	199.6	231.4	104.7	282.8
スイス	12.3	12.9	14.1	15.4	12.1	15.4
西ヨーロッパ計	487.8	446.8	704.8	829.3	663.8	963.4
チエコスロバキア	60.4	45.2	50.7	81.6	71.6	75.0
東ドイツ	181.8	141.3	193.7	235.7	232.4	231.5
ポーランド	277.6	250.2	294.3	555.6	493.8	716.5
その他	34.6	15.9	23.0	23.7	22.3	23.9
東ヨーロッパ計	554.4	452.6	561.7	896.6	820.1	1,046.9
ヨーロッパ(含むソ連)	1,042.2	899.4	1,266.5	1,725.9	1,483.9	2,010.3
アフリカ						
アルゼリア	8.8	5.5	5.5	5.5	6.7	7.0
アジア						
中共※	735.0	625.0	730.0	770.0	745.0	770.0
インド	1,312.0	1,426.0	995.0	1,616.4	1,406.2	1,372.6
日本	226.7	120.0	148.4	137.8	104.3	87.3
パキスタン	355.0	399.8	332.6	338.2	306.9	338.2
その他	19.4	19.7	37.8	33.6	36.8	37.5
計	2,648.1	2,590.5	2,243.8	2,896.0	2,599.2	2,605.6
世界計	4,011.4	3,777.5	3,920.0	5,275.7	4,829.1	5,363.2

ナ タ ネ 輸 出 量

(単位：S/T) = (0.90718M/T)

国 名	1960~64平均	1962	1963	1964	1965	1966×
ベルギールクセンブルグ	67	56	37	67	119	55
フランス	69,426	90,304	78,388	131,620	139,294	144,772
西ドイツ	1,017	536	445	3157	5315	4,406
ネーデルランド(オランダ)	11,908	4,956	14,746	13,626	6,149	11,730
計	82,418	95,852	93,616	148,470	150,877	160,963
ブルガリア	1,544	1,041	1,806	3,348	2,293	2,200
カナダ	145,293	214,818	155,269	91,042	266,214	348,938
中 共	5,030	6,177	31,118
デンマーク	34,576	27,652	47,727	53,631	41,664	34,908
エチオピア	2,009	2,601	2,452	1,559	1,653	615
ポーランド	5,945	22,156	4,989	...	66,612	68,300
スウェーデン	28,045	17,053	33,902	53,651	81,006	19,259
総 計	304,860	381,173	339,761	351,701	616,388	666,301

ナ タ ネ 輸 入 量 (単位：S/T)

国 名	1960~64平均	1962	1963	1964	1965	1966※
ベルギールクセンブルグ	2,347	3,965	993	2,079	4,449	3,009
フランス	23,722	17,272	12,318	8,389	4,955	8,966
西ドイツ	29,829	34,390	49,977	35,483	111,269	100,534
イタリア	79,323	113,938	100,347	67,659	145,813	231,310
ネーデルランド	6,537	14,643	5,197	3,535	17,857	8,752
計	141,758	184,208	168,832	117,145	284,343	352,571
アルゼリア	68,934	58,598	81,603	73,898	65,499	59,568
フィンランド	6,044	6,302	...	3,917	4,053	8,412
日 本	59,777	40,569	96,629	83,930	111,661	233,094
イギリス	7,906	8,031	8,900	12,890	36,003	47,253
アメリカ	677	934	849	462	612	309
総 計	285,096	298,642	356,813	292,242	502,171	701,207

ナタネ油輸出

(単位：S/T)

国名	1960~64平均	1962	1963	1964	1965	1966
フランス	6510	3490	7723	12930	35608	48191
西ドイツ	10469	9942	15165	15755	27044	28498
ネーデルランド(オランダ)	804	1351	1407	417	1373	3204
計	17783	14783	24295	29102	64025	79893
カナダ	221	356	61	195	2	...
中共	4342	30	...	1325	5224	34915
デンマーク	148	11	537	9	382	219
日本	1104	...	2837	2596	4006	11922
ポーランド	947	...	4735	...	8625	8818
スウェーデン	12033	20310	16475	9764	18076	15471
総計	39595	42555	48940	42991	100340	151240

ナタネ油輸入

(単位：S/T)

国名	1960~64平均	1962	1963	1964	1965	1966※
ベルギー、ルクセンブルク	376	434	1305	443	1025	2116
西ドイツ	5616	5385	3693	5181	8450	24612
イタリア	5797	1844	1103	196	650	1488
ネーデルランド(オランダ)	5539	5999	6598	4465	12326	15852
計	17328	13662	11699	10285	22451	44068
アルゼリア	8206	7500	8300	7500	11199	21495
オーストリア	3011	3379	3842	5967	9040	13180
チェコスロバキア	1184	608	1432	2422	3292	2750
ホンコン	678	86	712	...	4087	25083
モロッコ	905	4408	11850
イギリス	1325	2300	4122	200	308	42
アメリカ	2024	2049	1515	2886	2190	3746
総計	34661	33992	31622	29260	52571	122214

ナタネ種子及びナタネ油の価格

	ナタネ種子			ナタネ油	
	カナダ産cif.ヨーロッパ諸港	各地域産ex-tank. ロッテルダム		EEO産cif.ヨーロッパ諸港	
	\$/MT	\$/MT	¢/lb.	/MT	¢/lb
1965 1月		284	13.9		
3月	145	315	14.3		
5月	121	296	13.4		
7月	110	245	11.1		
9月	113	215	9.8	234	10.6
11月	121	239	10.8	246	11.1
平均	120	263	12.0	241	10.9
1966 1月	132	250	11.3	255	11.6
3月	127	248	11.2	256	11.6
5月	128	243	11.0	252	11.4
7月	135	242	11.0	254	11.5
9月	131	246	11.1	257	11.7
11月	126	240	10.9	246	11.2
平均	130	244	11.1	253	11.5
1967 1月	127	233	10.6	244	11.1
2月	128	226	10.3	238	10.8
3月	128	225	10.2	233	10.6
4月	129	223	10.1	229	10.4
5月	127	218	9.9	225	10.2
6月	129	218	9.9	228	10.3
7月	126	202	9.2	212	9.6
8月	124	192	8.7	201	9.2
9月	117	191	8.6	199	9.0
10月	114	185	8.4	199	9.0
11月	112	180	8.2	193	8.8
12月	112	183	8.3	193	8.8
平均	123	206	9.4	216	9.7
1968 1月	111	183	8.3	189	8.6
2月	110	180	8.2	188	8.5

白。黒胡椒

世界貿易 黒、白コショウの世界輸出量は1966年、年間15.1百万ポンドにのぼり、先年より6%多い、1960～64年平均13.2百万ポンドより相当多くなっている。この輸出の増大はインド、インドネシアの輸出量が増えたためである。しかし利益は幾分かは、サラワク、ブラジル、マラガン共和国、カンボディア、セイロンからの比較的少量の出荷により分けられている。

世界のコショウ価格は1967年においてもより多い供給と、マレーシア～インドネシア間の緊張緩和を反映して下落し続けている。1967年のNYにおける黒コショウの御売価格は平均1ポンド当たり38.4セント、前年は43.3セント、1965年は47.9セント。1968年1月の価格は38.8セント、(855)であり1967年の同月の価格より1%高い。

1967年のアメリカのコショウ輸入量は56.1百万ポンド、金額にして15.9百万ドルで1966年の水準より4.8%も高い。この輸入量は、低価格と在庫増強のためであつた。この輸入増の殆んどすべてはインドネシアから買付けによる。一方インドからの輸入は急減した。

インドのコショウ輸出は1966年には54.8百万ポンドの記録に近い量に昇つた、1965年の出荷量より約10%多い。高い生産にも拘わらず、1967年の1月～10月までの間の輸出は(40.9百万ポンド)1966年の同期間より1.8%も減少している。この急減はインドのコショウ価格が高い水準にあるためであり、輸入業者は他の生産者の低品質のコショウを買っている。これらは一般に1ポンド当たり7～12セント安い。

インドネシアの1966年の輸出量は46.3百万ポンドで先年より相当多いしかし、1964年の船積量51.7百万ポンドより依然として低い。1965年の27.3百万ポンドという異常に少ない輸出量は減収と農家や輸出業者がストックを保留していたためである。

ブラジルの1966年の輸出量は、1965年の水準の記録より2百万

ポンド減少し14.1百万ポンドになつた。1967年の初めの6ヶ月間における船積量は7.4百万ポンドであつた。これは1966年同期の約2倍である。

1966年のサラワクからの輸出量は、1965年の39.5百万ポンドという大輸出量から厳しく減少し29.2百万ポンドになつた。しかし1967年には立派に回復し、43.6百万ポンドと新記録に近い数に昇つている。

米国のコシヨウ輸入

	1966		1967	
	1000ポンド	1000ドル	1000ポンド	1000ドル
黒	33,939	12,185	51,418	14,182
白	3,827	1,939	4,723	1,761

米国のコシヨウ輸入

黒コシヨウ

(表1)

	1966		1967	
	1,000t	1,000\$	1,000t	1,000\$
アルゼンチン	33.1	9.5
ブラジル	4,439.6	1,534.6	7,158.1	1,849.6
カナダ	44.8	14.7
セイロン	190.4	77.1	112.0	45.1
タイチ	6.5	1.5
インド	12,769.8	4,829.7	3,225.9	1,034.6
インドネシア	15,415.3	5,329.8	39,567.0	10,867.3
ジャマイカ	2.2	0.9
マレーシア	921.3	342.1	882.3	247.9
フィリピン	22.4	6.6
シンガポール	102.2	37.5	404.6	115.6
スペイン	10.0	3.0
イギリス	47.3	17.2	2.5	2.3
計	33,939.4	12,185.1	51,417.9	14,181.5

白コショウ

(表2)

白コショウ	1966		1967	
	1,000 ℔	1,000 \$	1,000 ℔	1,000 \$
ブラジル	274.0	135.5	396.0	139.7
セイロン	22.4	11.6
インド	22.4	8.4
インドネシア	3,399.1	1,729.2	4,169.9	1,564.0
象牙海岸	8.6	2.4
マレーシア	33.6	16.4	39.2	15.0
シンガポール	89.6	43.9	95.2	33.9
計	3,827.3	1,939.0	4,722.7	1,761.0

白黒胡椒主要生産国の輸出量

(単位：1,000 ポンド)

	1960-64 平均	1961	1962	1963	1964	1965	1966
インドネシア	55082	56752	38850	96127	51656	27272	46304
インド	42581	38514	55142	41736	36217	50025	54803
サラワク	22482	24532	25935	25627	27136	39455	29241
ブラジル	6191	6470	6094	5240	8920	16305	14060
マラガシ共和国	2741	2840	2357	1989	4215	3402	2440
カンボジア	2230	2934	1803	1915	1814	3976	3259
セイロン	623	63	101	205	1236	1531	677
計	131,930	132,105	130,282	172,842	131,194	141,966	150,784

白・黒胡椒輸出配分（1966年）

（単位：1,000ポンド）

	インド	サラワク	インドネシア	ブラジル	マラガシ 共 和 国	シンガポール (再輸出)
西ヨーロッパ						
EEO: ベンゴール フランス	11	34	762	66	...	424
西ドイツ	151	...	662	582	1,987	1,729
イタリー	17	2,061	2,766	2,088	11	682
オランダ	4,192	22	46	29	198	722
小 計	23	...	2,120	196	...	305
	4,394	2,117	6,356	2,961	2,196	3,862
その他の西ヨーロッパ						
イギリス	47	273	1,140	626	...	6,046
ユーゴスラビア	2,987	...	25	4
そ の 他	538	717	62	11	...	2,592
計	7,966	3,107	7,583	3,598	2,196	12,504
東ヨーロッパ及ソ連						
ブルガリア	519	25
チェコスロバキア	1,649
東ドイツ	908	...	348
ハンガリー	1,345	...	91
ポーランド	2,030	...	57
ルーマニア	2,129	...	343
ソ 連	16,872	386	...	45
計	25,452	...	839	386	...	70
そ の 他						
アルゼンチン	2,643
オーストラリア	55	1,414
カナダ	2,976	65	675
エジプト	1,268	53
香 港	...	213	1,132	415
日 本	78	240	952	4	...	3,000
メキシコ	754	...	31
モロッコ	209	381	67	3,745
シンガポール	319	24,429	616
南アフリカ	...	269	997
米 国	11,702	...	11,553	5,611	...	8,113
その他不特定国	4,778	537	2,345	1,064	177	9,351
総 計	54,803	29,241	25,020	14,060	2,440	40,368



LIB